

2020年基準 消費者物価指数 (大津市)
2023年 (令和5年) 平均

(令和6年1月19日公表)

1. 2023年 (令和5年) 平均消費者物価指数 (大津市) 概況

	指 数	前年比(%)	概 況
総合指数	104.3	2.8	年間を通して前年を上回る水準で推移。
生鮮食品を除く 総合指数	103.8	2.5	年間を通して前年を上回る水準で推移。
生鮮食品及び エネルギーを除く総合指数	103.6	3.6	年間を通して前年を上回る水準で推移。

2. 総合指数の動き

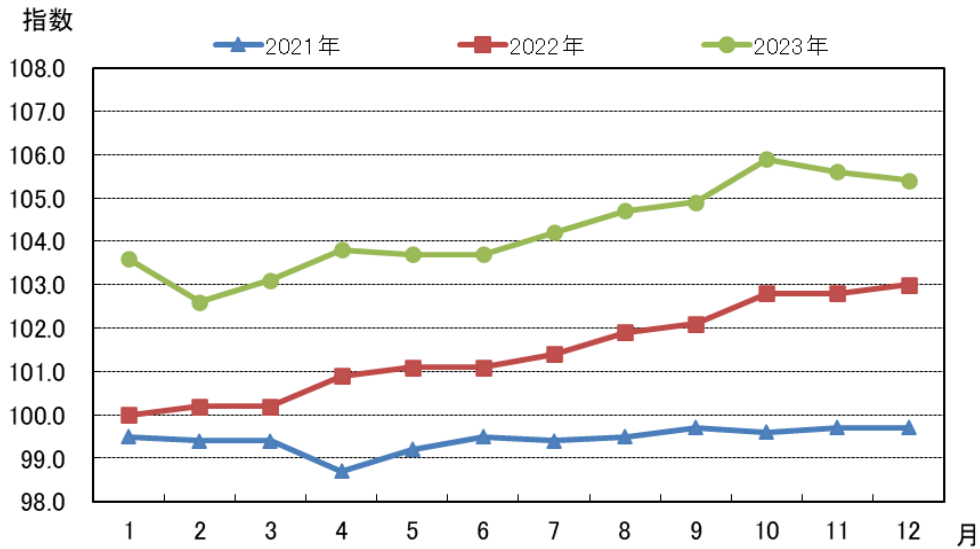
総合指数は104.3で前年比2.8%となっており、年間を通して前年を上回って推移しました。(図-1、2)

10大費目別に見ると、上昇に寄与した主な費目は「食料(8.0%)」、「教養娯楽(3.6%)」等で、「食料」、「教養娯楽」等は年間を通して前年を上回って推移しました。一方で「光熱・水道(-10.3%)」は、おおむね前年を下回って推移しました。

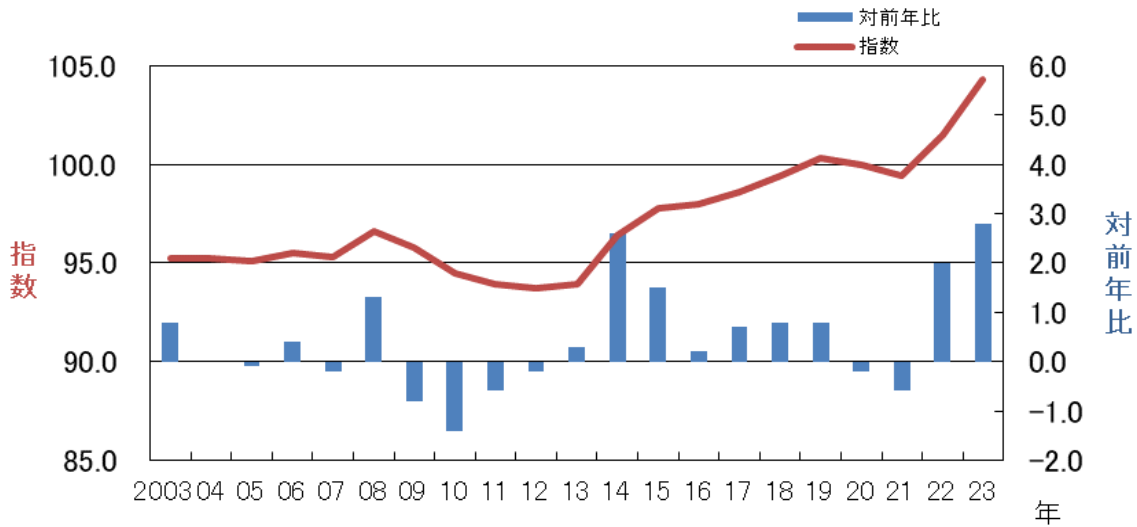
生鮮食品を除く総合指数は103.8で前年比2.5%となっており、年間を通して前年を上回る水準で推移しました。(図-3、4)

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は103.6で前年比3.6%となっており、年間を通して前年を上回る水準で推移しました。(図-5、6)

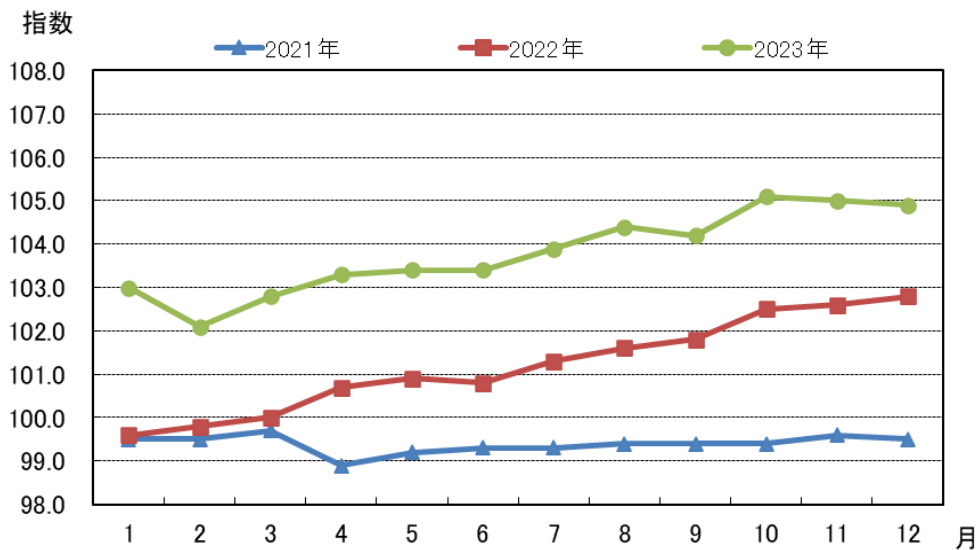
(図-1) 総合指数の動き



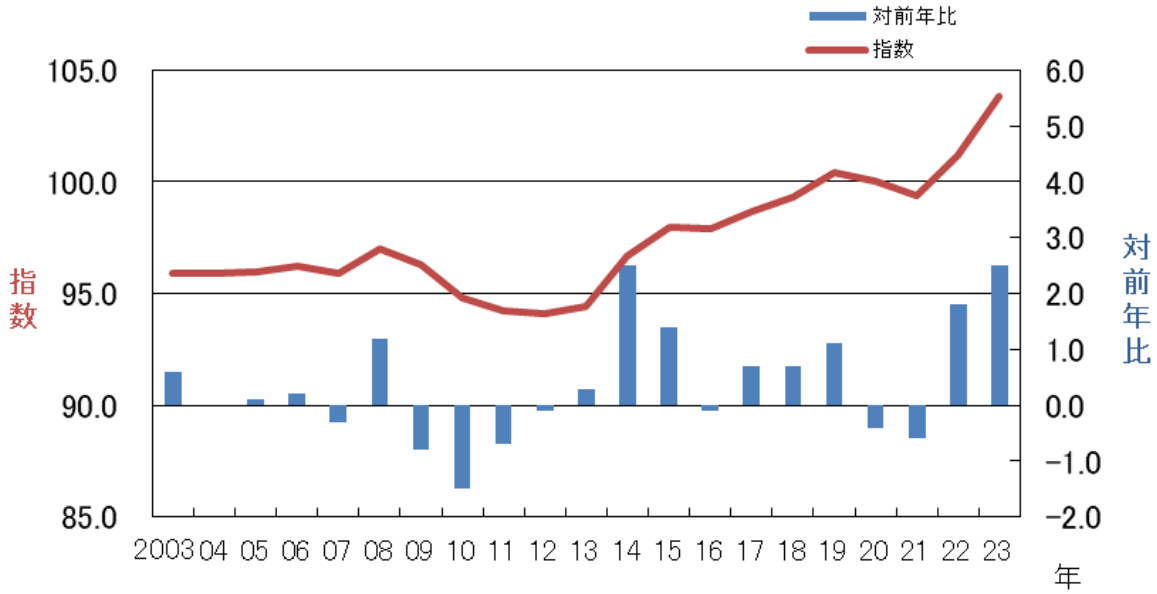
(図-2) 総合指数と対前年比の動き



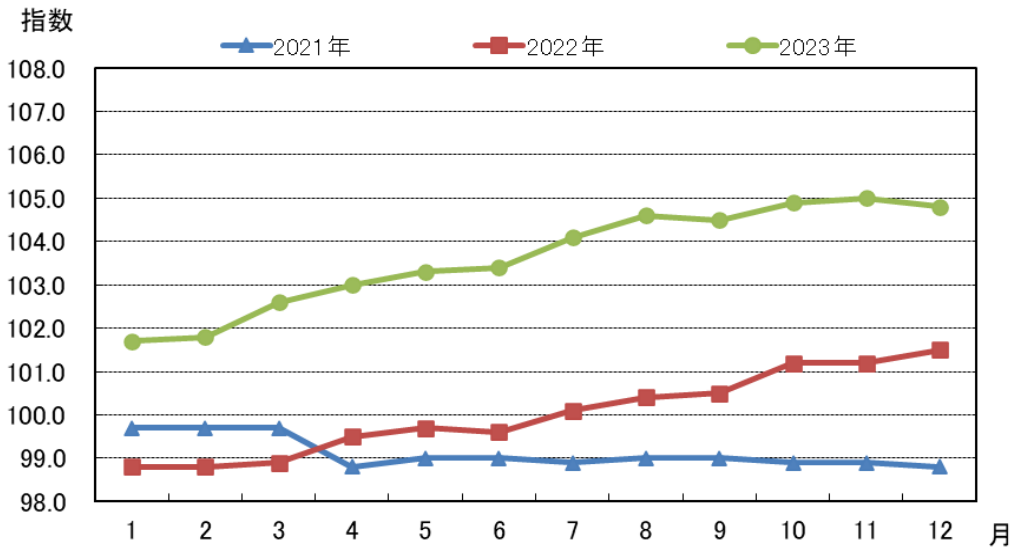
(図-3) 生鮮食品を除く総合指数の動き



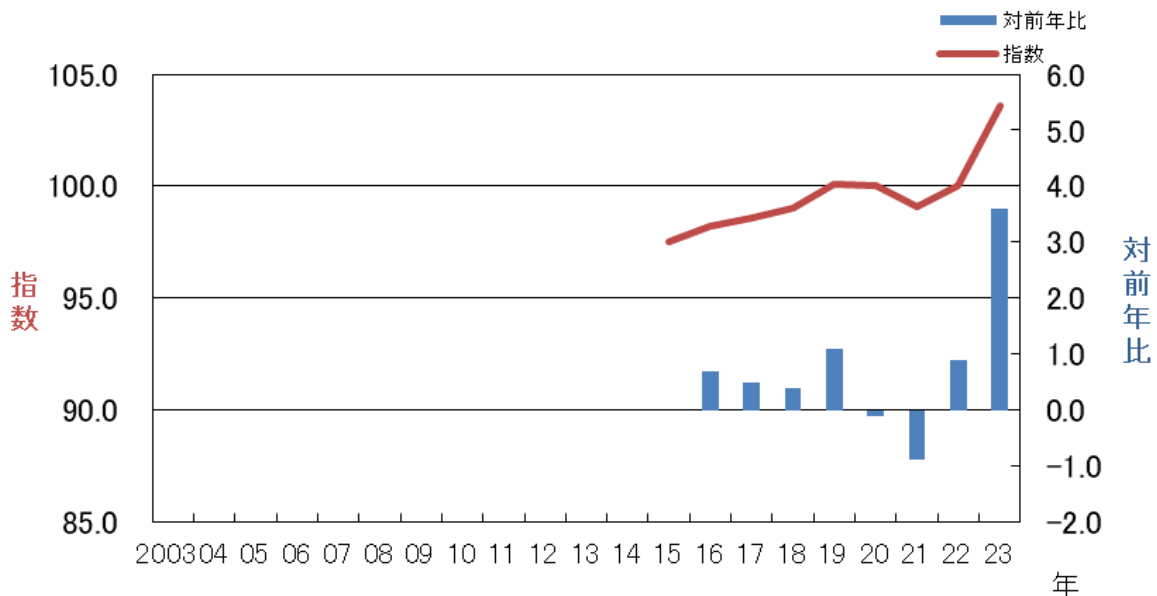
(図-4) 生鮮食品を除く総合指数と対前年比の動き



(図-5) 生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数の動き



(図-6) 生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数と対前年比の動き



3. 10大費目指数と前年比および寄与度

2020年=100

10大費目名	指数	前年比(%)	寄与度	寄与の大きい項目 (中分類等・対前年上昇率)
食料	112.0	8.0	2.20	調理食品 9.5
住居	102.1	0.5	0.10	設備修繕・維持 1.7
光熱・水道	99.7	-10.3	-0.77	電気代 -18.5
家具・家事用品	110.2	7.0	0.28	家事用消耗品 7.4
被服及び履物	105.4	3.5	0.13	洋服 4.9
保健医療	99.4	1.7	0.08	医薬品・健康保持用摂取品 3.2
交通・通信	95.9	2.0	0.30	通信 6.3
教育	100.7	0.9	0.03	授業料等 1.0
教養娯楽	105.9	3.6	0.36	教養娯楽サービス 2.9
諸雑費	103.2	0.7	0.04	身の回り用品 2.5

注) 寄与の大きい項目は、各10大費目に対する寄与度が最大の項目のみ掲載しています。

4. 総合指数の前年比に寄与の大きかった中分類指数

●上昇した中分類指数等の主な項目（寄与度順）

調理食品〔食料〕	(+)	9.5%
外食〔食料〕	(+)	6.0%
乳卵類〔食料〕	(+)	18.6%
菓子類〔食料〕	(+)	9.1%
穀類〔食料〕	(+)	8.6%
通信〔交通・通信〕	(+)	6.3%
生鮮魚介〔食料〕	(+)	11.6%
教養娯楽サービス〔教養娯楽〕	(+)	2.9%
肉類〔食料〕	(+)	5.1%
教養娯楽用品〔教養娯楽〕	(+)	6.9%
家事用消耗品〔家具・家事用品〕	(+)	10.9%
自動車等関係費〔交通・通信〕	(+)	1.1%
生鮮野菜〔食料〕	(+)	5.2%
飲料〔食料〕	(+)	6.9%
家事雑貨〔家具・家事用品〕	(+)	11.6%
油脂・調味料〔食料〕	(+)	7.2%
洋服〔被服及び履物〕	(+)	4.9%
酒類〔食料〕	(+)	6.8%
設備修繕・維持〔住居〕	(+)	1.7%
生鮮果物〔食料〕	(+)	6.3%

●下落した中分類指数等の主な項目（寄与度順）

電気代〔光熱・水道〕	(-)	18.5%
ガス代〔光熱・水道〕	(-)	6.0%

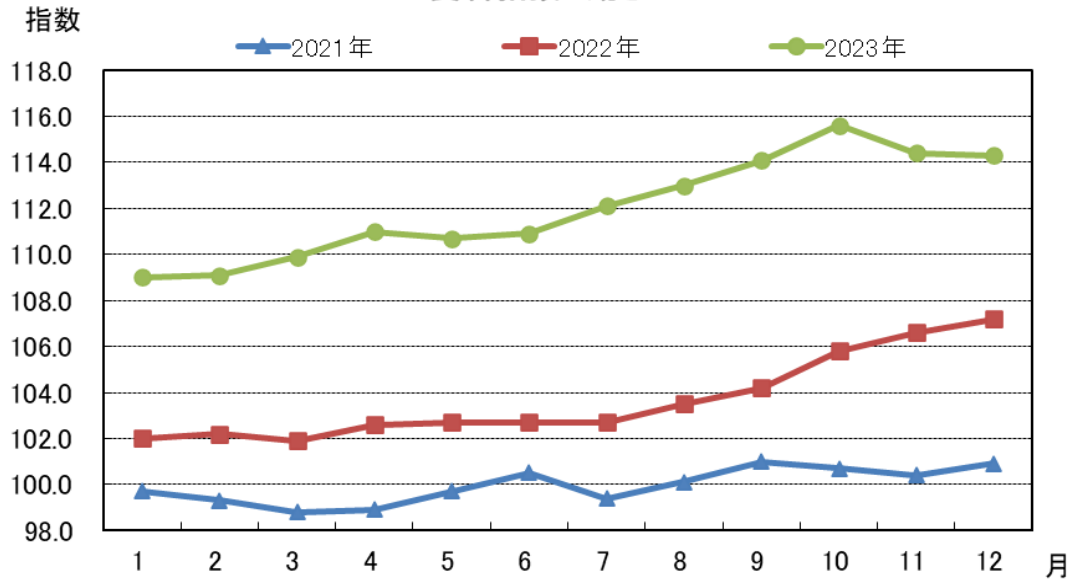
注) 寄与度：総合指数の上昇に対して各費目がどれだけ影響したかを示します。

注) 中分類指数の項目のうち、寄与度および各指数の対前年比が比較的大きな項目のみを掲載しています。〔 〕内は、10大費目名です。

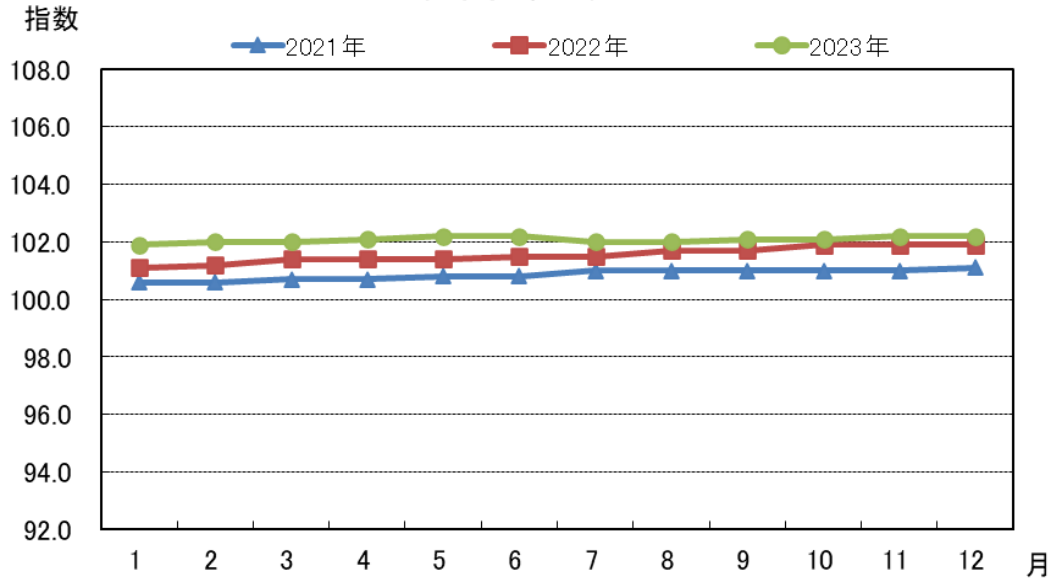
注) 生鮮食品（生鮮魚介、生鮮野菜、生鮮果物）については、小分類指数です。

5. 10大費目別の動き

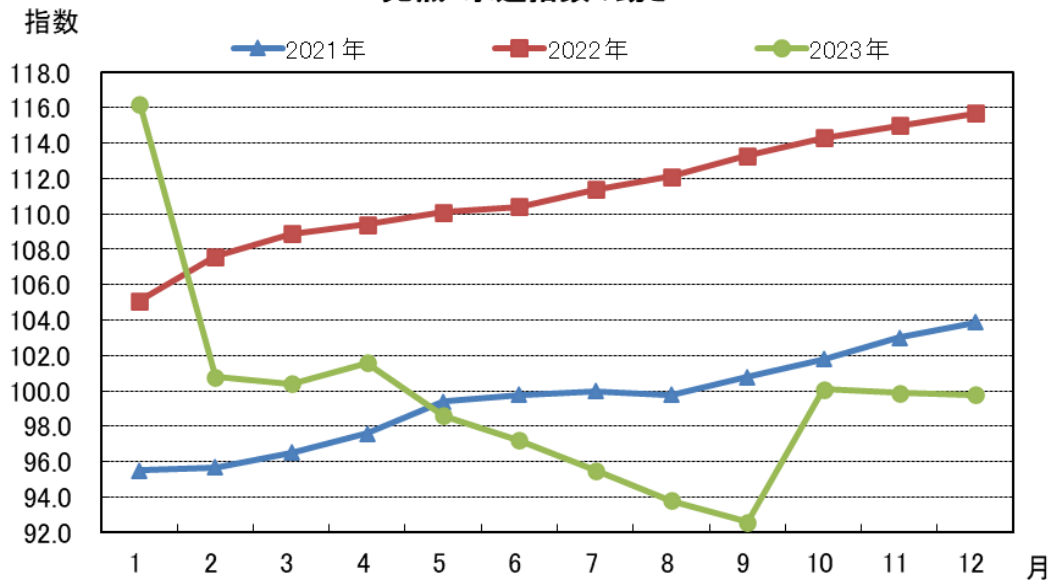
食料指数の動き



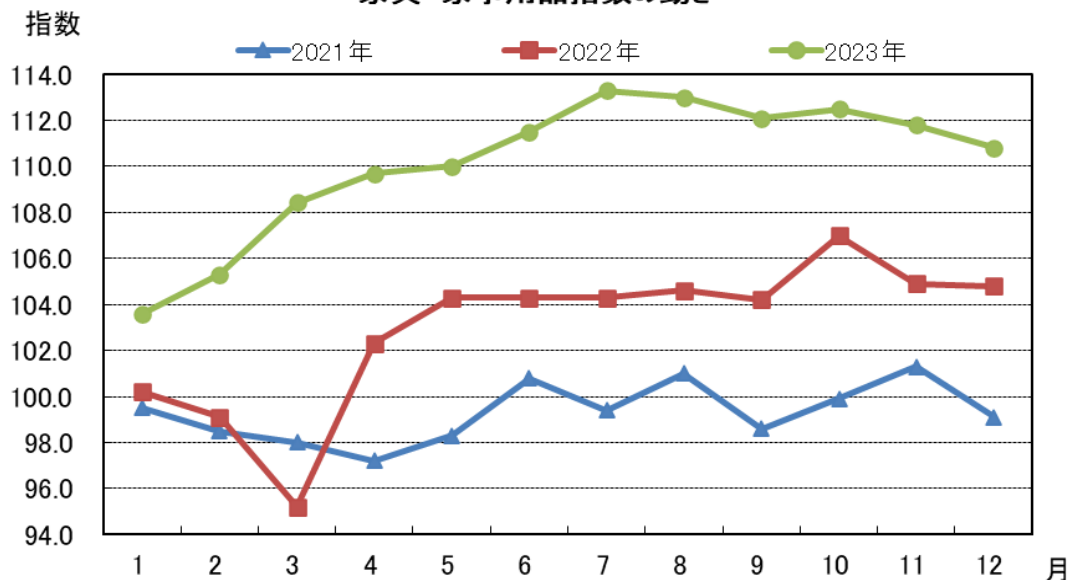
住居指数の動き



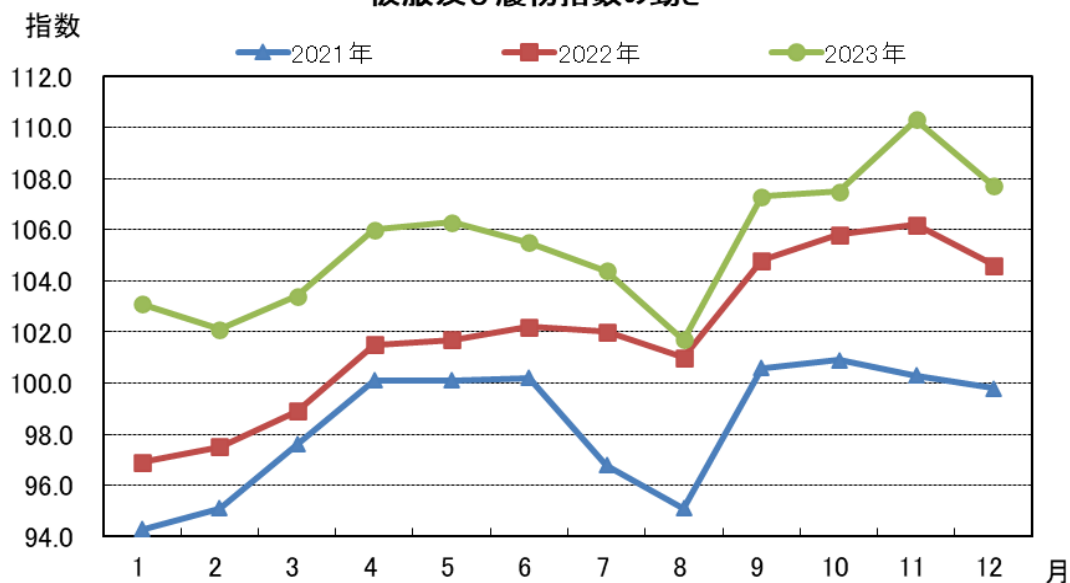
光熱・水道指数の動き



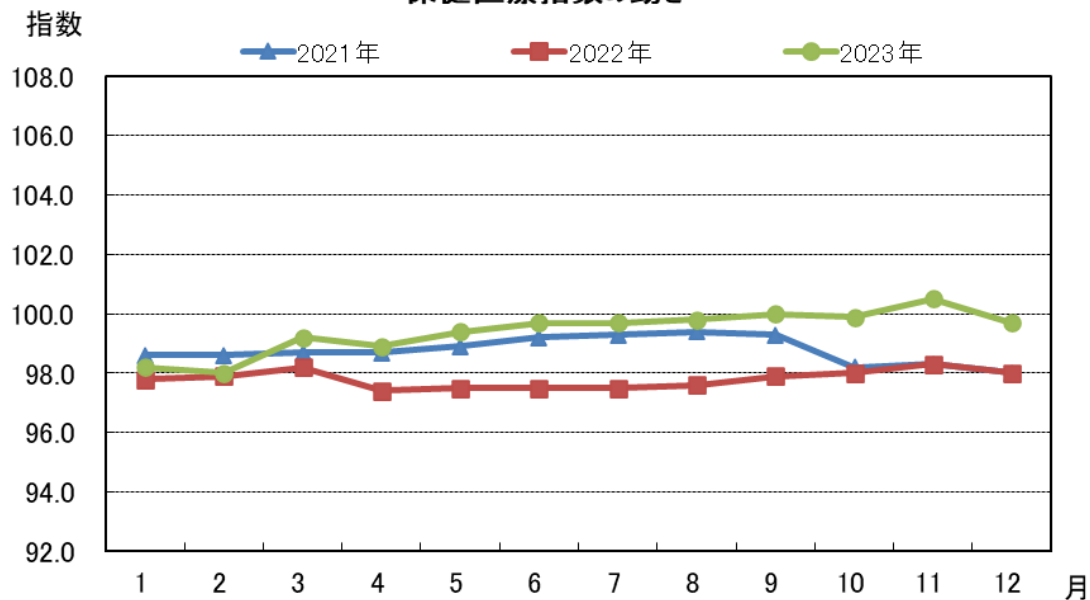
家具・家事用品指数の動き



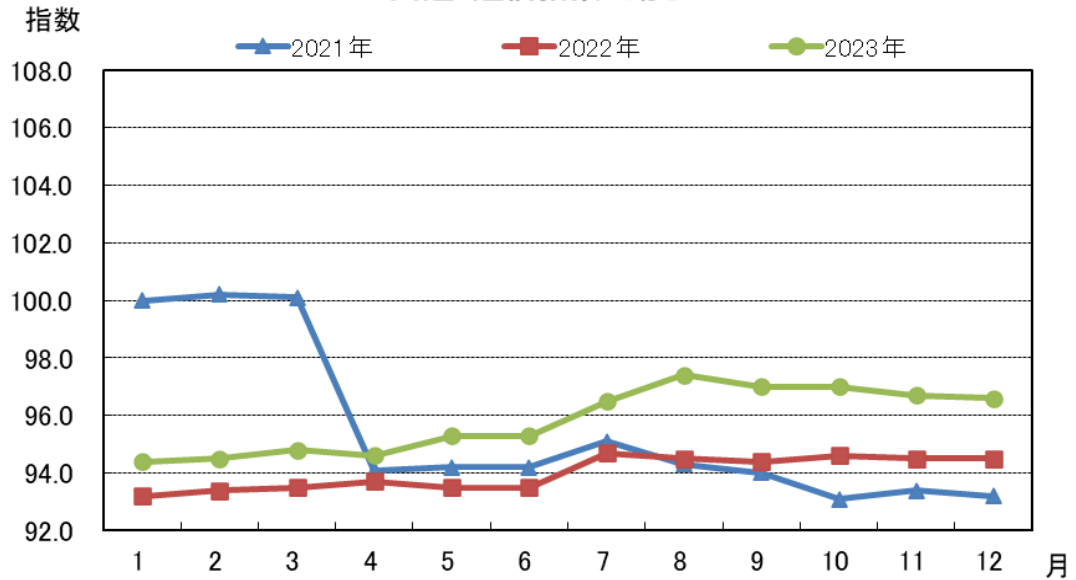
被服及び履物指数の動き



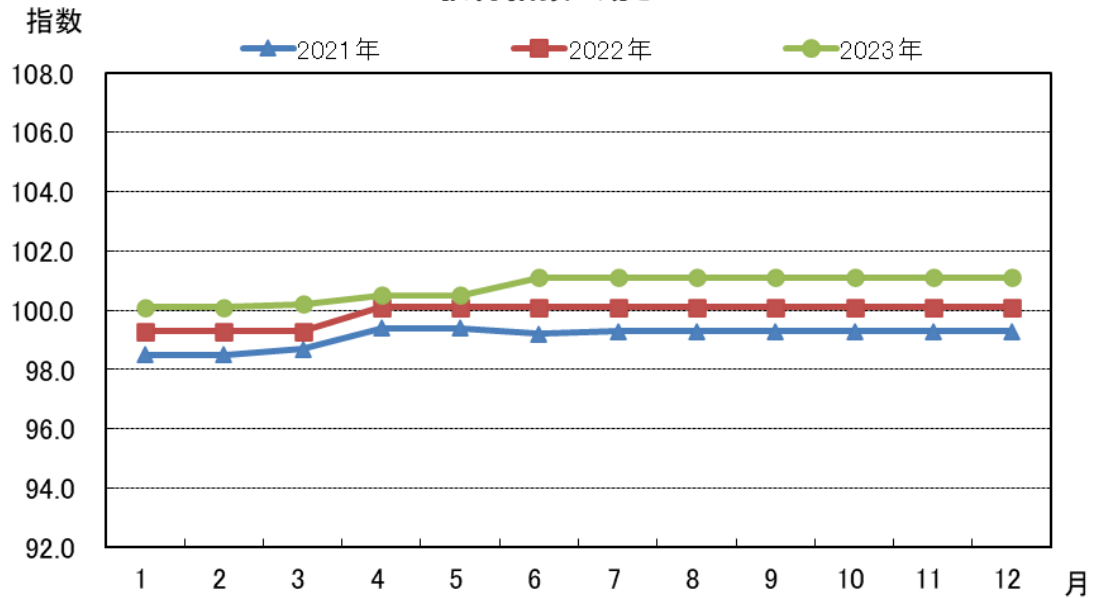
保健医療指数の動き



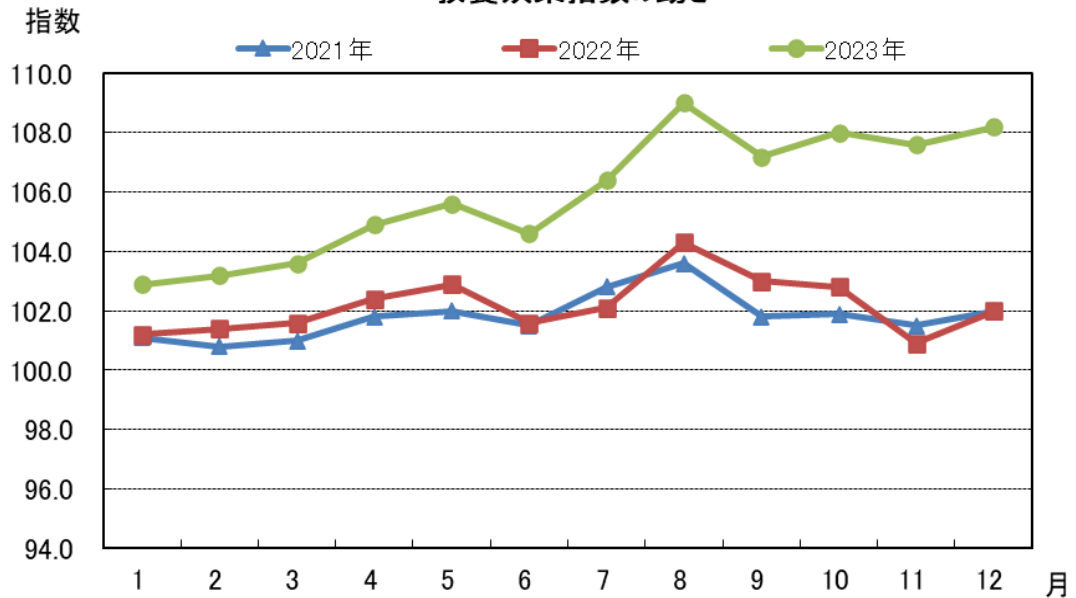
交通・通信指数の動き



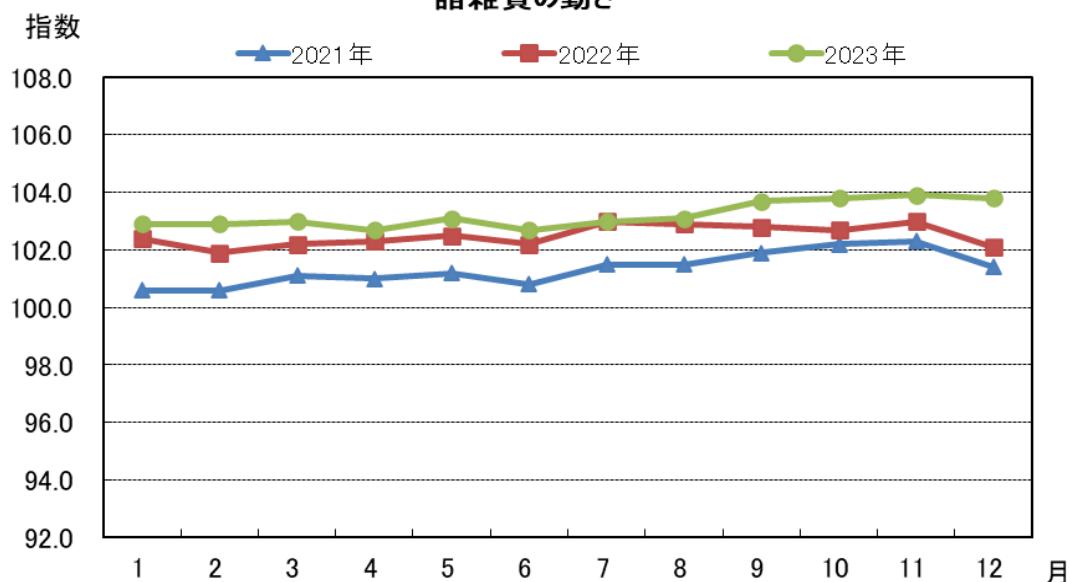
教育指数の動き



教養娯楽指数の動き



諸雑費の動き



【参考】 近年の総合指数の動き

2020年は、前年に比べて0.2%下落しました。食料、交通・通信で、10月まではおおむね前年を上回って推移しました。一方で、教育、諸雑費、光熱・水道は新型コロナウイルス感染症の影響等で、おおむね前年および前々年を下回って推移しました。

2021年は、前年に比べて0.6%下落しました。教養娯楽、住居で、おおむね前年および前々年を上回って推移しました。一方で交通・通信、保険医療、被服及び履物は前年、前々年を下回って推移しました。

2022年は、前年に比べて2.0%上昇しました。食料、光熱・水道等で前年を上回って推移しました。一方で、交通・通信でおおむね前年を下回って推移しました。